



活動目的

- 子どもが自由にいきいきと遊べる場づくり(プレイパーク)
- 学校や家庭以外の居場所づくり

代表▶小田 猛(上延沢)

主な活動場所▶金井島緑陰自由運動広場・中家村公園

今後の活動▶11月30日(土)・12月1日(日)・2月22日(土)・2月23日(日)

「危ない」「汚い」の注意は一切なし！自分の責任で自由に、ダイナミックに遊ぶことができます。自分で考えて遊んだことは、成功しても失敗してもどちらも「経験」という大きな力になります。プレイパークは誰でも参加できる、皆の居場所です。私たちと一緒に遊びましょう！

副代表
伊藤 稔さん
(上延沢)

Facebook
はこちら



活動目的

- 長期休業時の居場所と規則正しい生活リズムを確保する
- 世代間のつながりや多様な遊びの提供

代表▶清水 友紀(パレットガーデン)

主な活動場所▶駅前第二公園等

今後の活動▶春休み期間中に実施予定

「長期休暇中の子どもたちと学びを地域でサポート」を掲げ、主に夏・春休み中の子どもたちが集まり、一緒に勉強や様々な遊びを行うための居場所作りの企画・運営を行いながら、地域間・世代間を繋いでいます。現在、一緒に活動してくださる仲間を募集中です。一緒に地域活動しましょう！

代表
清水 友紀さん
(パレットガーデン)

Facebook
はこちら



活動目的

- 子育ての孤立を防ぐ
- 子どもたちの育ちと発達特性の理解を深める

代表▶石飛 美和(上延沢)

主な活動場所▶地域支援センターひまわり(延沢823-1)

今後の活動▶月1回おしゃべり会・親子交流会等

専門家等に相談することも大切ですが、立場や環境が似ているママたちとお話することで得るもの、楽になることがあると思います。もちろん悩みや疑問が無くても大丈夫です！ママやパパの交流の場になれば嬉しいです。

代表
石飛 美和さん
(上延沢)

ブログ
はこちら



社会福祉法人 一燈会理事長

山室 淳さん

「今年度新たに採択された「ニコニコ子ども食堂」の山室さんにお話を伺いました。」

「ニコニコ子ども食堂」を立ち上げたきっかけを教えてください。

子育て世帯や共働き世帯が増えている開成町では、平日や休日に関係なく、親御さんが忙しく働かれています。その状況の中で、子どもが「孤食」になってしまったり、親御さんが子どもとゆっくり過ごせなかったりと様々な課題があります。

ニコニコ子ども食堂を子どもたちや親御さんの第二の居場所にしてもいい、「あそこに行けば誰かに会える」「ここに来ると親子の時間をゆっくり

代表▶社会福祉法人一燈会
主な活動場所▶サウスポート
(みなみ五丁目4-17)

目的▶○孤食という社会問題が広がっている中、一時でも解消し、食事をしながら楽しめる環境を作る
○地域コミュニティの場

今後の活動▶11月から毎週日曜日開催

Facebookはこちら▶

フードドライブ

フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を持ち寄り、それらを必要な方や団体に寄付する活動です。活動していく中で、「顔が見えるところで、子どもたちに届けたい」という思いが膨らみ、ニコニコ子ども食堂さんにお届けすることになりました。

現在は、会員の持ち寄りのみですが、今後は町中に活動を広げたいと思います。

開成町消費者の会会長
鳥海 由美子さん(円中)



「多様な世代間の交流は、子どもにとっていい影響がたくさんありますが、核家族化が進み、子どもが祖父母世代と触れ合う機会が少なくなっていると思います。ニコニコ子ども食堂では食事の提供に留まらず、子どもたちと地域の方の交流を生み出していききたいです。」

また、開成町消費者の会が行っている「フードドライブ活動」をニコニコ子ども食堂で行っていたらどう予定ですか。ニコニコ子ども食堂を私たちがだけでなく、様々な人や団体と共に成長させていきたいです。

専門家の声

和泉短期大学にて、保育内容「健康」を主に指導。平成30年5月から開成町子ども・子育て委員会として、町の子育て支援施策等の推進等の検討を行う。現在2期目。

和泉短期大学教授

井狩 芳子さん



保護者だけではなく、地域で子育てする町に

私は、保育者養成大学に長年勤務しています。担当科目の学期初めに、導入として、「①健康的な子どものイメージ」と「②現代の子の健康に係る一番気になること」について学生たちに尋ねます。最多の回答は、①は「よく遊ぶ」②は「遊びの変化(戸外遊びの減少と夜型生活)」です。

今の大学生は、小学生時代にスマートフォンがなかった世代ですが、その学生たちからも、現代の子の遊びの変化と社会(保護者を含む)の向き合い方に危機感の声が挙がります。

今年は、「こどもの権利条約採択30年、日本の批准から25年」を迎えますが、その中でも、特に乳幼児期の子どもに大切なのは、「生きる・遊ぶ・休息する権利」の保障です。つまり、子どもには「大人(社会)の養護を受ける権利」があるので

開成町でも、「日常的な子ども遊びの場を保障し、子育て中の保護者の孤立感を軽減し、様々な立ち位置にある親子に安心した居場所をどのように提供していくのか」の視点に立った子育て支援策が考えられています。

子育てをその保護者に一任するに留めず、保護者の出身地に関わらず、地域全体で子育てをしていくことが一層進み、その力が地域全体の基盤になることを願っています。